

【効果的な採用方法】

毎月購読しているビジネス雑誌に採用についての興味深い記事がありましたので一部抜粋してご紹介します。

会社で従業員を採用する際には求人広告を出しますが、一般的な求人広告には「職種、仕事内容、勤務時間、給与額」など条件に関して書かれているのがほとんどです。でもこれらには実際の会社情報が少なく、会社の表面や良い部分だけを紹介しています。そして表面だけを見て応募してきた求職者は、実際の仕事内容や会社の雰囲気、社長の考え方や理念を知らずに応募するので、面接での合格率も低く、たとえ合格したとしても現実とのギャップを感じ退職をしやすい。結局また採用活動を繰り返すこととなります。

そもそも採用活動の目的は「人を採用すること」にあるわけではなく、「会社に利益を与えてくれる人材を採用して、長く勤めてもらうこと」にあります。

そのためには会社が求める人材に会社の提供できるすべての情報を伝えてファンになってもらい、自社に合わない人材にはこの会社には興味がないから応募しないでおこうと思ってもらうようにします。

【求人広告に盛り込み求職者に伝えるべきこと】

1. 会社が存在する意義と今後の進むべき方向を示す企業理念
2. 経営者の創業からこれまでの人生と仕事やスタッフに対する想い
3. 写真や動画、資料を使って具体的な仕事内容の詳細や仕事のやりがいができるだけ客観的に証明する

求職者も次の会社こそは長く勤めたいと思っていますので、データだけではなく経営者の熱い想いに惹かれます。そして熱い想いに惹かれる人ほど一所懸命に長く働いてくれます。最終的に目指すものは、①社長が尊敬される人物となること②会社のことを好きになってもらうこと③生活のために働くのではなく、仕事自体を楽しんでいると思ってもらうことにあります。

企業理念や社長の会社や従業員に対する想いは、求職者だけではなく、すでに働いている従業員にもぜひ伝えて下さい。

